

私立 鹿児島純心女子短期大学

取組名称 地元企業との連携と学生の学習力・行動力を支援する組織の強化策

取組担当者 生活学科 教授 三島 盛武

1. 本学の概要

鹿児島純心女子短期大学は、1960(昭和35)年4月に設立され、2010(平成22)年に創立50周年を迎える。

本学は、キリスト教ヒューマニズムに基づく「全人教育」を建学の理念とし、「いのちを育む知性と愛」を教育の精神として人間愛の灯を点し続けている大学である。

学科構成は生活学科と英語科の2学科制をとり、教員と学生の濃密な人間的接触を図るための担任制や少人数教育をその特色とする。生活学科は、生活学専攻(2コース)とこども学専攻、食物栄養専攻の3専攻制をとり、新しい時代の生活者・職業人として、また、子どもの心と体の問題や食育の課題等に取り組む専門職として必要な知識・技能・実践力等を養い、社会の要請にこたえ得る有益な人材を育成している。

英語科は実践的英語教育と全寮制による生活訓練を通じて生きた英語力を養い、広く社会の各方面で活躍するとともに世界に飛躍し得る有益な人材を育成している。その英語科の実践は2004(平成16)年度「特色ある大学教育支援プログラム」に採択され高い評価を受けた。現在、計594名の学生が学んでいる。

2. 本取組の概要

本学は、ここ5年間就職を中心とする進路達成率は、95%以上を堅持してきたが、求人数の減少等の影響で、2008(平成20)年度末段階の達成率は90%弱に留まった。

本取組は、この現状を打開するために、地元企業等の職場開拓等に当たる要員を配置するとともに、地域団体等との連携を強化することで、学生の人間力の育成に更に力を入れることを目指すものである。

特に本学キャリア支援委員会を中心として、鹿児島青年会議所と連携しその主催する事業等へのボランティア参加や、地元企業への学生の理解を深めるための講師派遣要請等を行うことにより、学生の意識改革を更に進めることを目指している。また、求人のある方

が学生の人間力を重視していることに鑑み、既設の学習力支援委員会を充実して、学習相談の門戸を更に広げ、学生が国語・英語の基礎力、一般教養力やコミュニケーション能力、行動力を習得できるような総合力向上を狙いとする講座を開設することにした。これらの活動を通して、学生が自ら進路を切り拓く力を習得できるよう支援を強化することを目指している。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 取組の趣旨・目的

(i) キャリア支援

キャリア支援では、主な取組として「キャリア支援体制の充実を図る取組」と「学生の意識改革を図る取組」があり、学生の具体的な職業観を養い、就職に対するモチベーションを高め、意識改革に資し、具体的・実践的に就職活動に臨む能力を育成するものである。また、外部からアドバイザーを招聘し「キャリア支援体制の改善・強化」を実施し、時代の要請に合った人材育成を目指すものである。

特に、鹿児島青年会議所や地元企業等との連携強化によるフォーラムの開催やボランティア活動への参加は、学生が地元企業等の実態をよく知ることにもなる。また、企業が求める人材や本学学生に何を期待しているか等について大きな示唆を得ることができ、日常の学習に対して学生が積極的に取り組む重要なきっかけとなると期待している。

(ii) 学習力支援

本学における学習が充実したものとなり、短期大学士としての知識・技能を十分身に付けることができるようにすること、また、目標とする進路実現を達成できるように学生を組織的に支援するための取組である。

具体的には、学生自らが自分の人生をたくましく切り拓くための力を身につけることへのモチベーションを高め、国語力や英語力等の基礎的な学力・読解力を身につけ、入社試験や大学への編入学試験、公務員採用試験等を突破する学力を身につけることを目指して

いる。

(iii) 支援体制の改善・強化

他大学の視察や研修会の開催を通して、キャリア支援と学習力支援に関わる組織の改善と教職員の学生支援に関する指導力向上を目指している。

(2) 達成目標

次の4つを目標としている。

- ①学生の就職活動に対するモチベーションを高め、学力の向上や人間性を更に高めて、これまで堅持してきた95%以上の進路達成率を今後も維持する。
- ②公務員等合格者を1桁台から2桁台に増やす。
- ③卒業後も自らの力で夢に向かって切り拓いていく力を付けた学生を育成する。
- ④これまでのキャリア支援に関わる活動を見直し、時代の要請に合った学生支援プログラムを構築する。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

本取組はキャリア支援と学習力支援の充実とそれぞれの支援体制の改善・強化を柱としている。

(1) キャリア支援

(i) キャリア支援体制の充実を図る取組

- ①スタッフ増員による職場開拓、就職に関する相談及び指導体制の充実
 - ・地元企業等の職場開拓や連携強化に当たる要員の配置
 - ・学生に対する個人面談等の充実のための外部からのアドバイザーの招聘
 - ・土日祝日の相談要員の配置
 - ・携帯サイトでのQ&Aコーナーの設置
- ②キャリア支援課内における面接指導環境の充実
 - ・面接指導の改善と学生自身による面接の自己点検のためのビデオの設置
- ③ホームページ構築による就職に関する積極的な情報提供

キャリア支援をバックアップするため、新たにWebページと携帯サイトを構築する。

Webページでは主に本取組の概要紹介やイベントの案内、これまでの就職実績等の紹介を行う。

携帯サイトでは、カレンダー形式によるキャリア支援講座の案内、求人情報の提供、就職活動体験記（ブログ）の掲載、進路の手引き（携帯版）、Q&Aコーナー等を設ける。

(ii) 学生の意識改革を図る取組

- ①地元企業や鹿兒島青年会議所等との連携・交流
 - ・就業意識の高揚を図るため、鹿兒島青年会議所と連携し、同会議所が主催するイベントへのボランティア参加を促進
 - ・地元企業への理解を深めるためのキャリア支援講座の開催
 - ・企業が求める人材と本学の教育についての相互理解と意見交換を行うフォーラムの開催
- ②各種キャリア支援講座の実施
 - ・就職・編入学総合対策講座の開催
 - ・就業意識、ライフプラン等を考えるための講座の開設

(iii) 進路未定の2年生に対する取組

- ①地元企業への訪問等による求人の確保
- ②キャリア支援アドバイザーによるクラス単位の就職支援講座開催と個人面談の実施

(iv) キャリア支援体制の改善・強化

他大学の視察、キャリア支援アドバイザーと教員・キャリア支援課スタッフとの意見交換会（キャリア支援アドバイザーによる研修の一部）、キャリア支援講座参加者に対するアンケート調査の集約と分析等を実施して、キャリア支援の年間計画、キャリア支援ツール、就職システム、キャリア支援講座などの改善を図る。

その成果は次年度のキャリア支援体制等の改善に生かすことになる。

(2) 学習力支援

(i) 学習力支援室の整備、補助員の配置、学習相談体制の充実を図る取組

学習力支援のための部屋を用意し、机・椅子・書架等の整備、担当教員と補助職員を配置するとともに資料の充実を図る。

(ii) 学習力支援講座の実施と充実改善

国語・英語等の基礎力、一般教養力、コミュニケーション能力、行動力を習得できるような総合力向上を狙いとする講座を開設する。すでに2009（平成21）年8月に5日間実施（全学生の37.5%に当たる223名が受講）しており、次回は2010（平成22）年1月末に開催する。

(iii) eラーニングシステム導入による自学自習環境の整備充実

学生が主体的に自学自習に励む環境作りと自学自習への意欲喚起などを図るため、放送大学のUPO-

NETを導入する。

(iv) 学習力支援体制の改善・強化

既設の学習力支援委員会が夏季休暇中に実施した学習力支援講座の受講生、担当講師へのアンケート調査の集約・分析、他大学視察等を行うことにより、より充実した学力向上の改善に資するとともに、今後の指導の在り方や講座の実施回数、年間計画等の改善を図るための検討を実施する。

(3) 取組の実施体制

本事業に関係する組織として、本学にはキャリア支援委員会と学習力支援委員会がある。本取組を推進する際、それぞれが単独で活動する方法もあったが、キャリア支援と学習力支援を一体化して推進した方がより効果的と判断し、双方の委員会の代表者等から構成した「学生支援推進プログラムワーキンググループ」を新たに設置し、本事業の企画・実施に当たることとした。

また、このワーキンググループの会議においては、本事業により外部から招聘したキャリア支援アドバイザーにも参加して頂き、助言をお願いすることにした。

5. 本取組の評価体制・評価方法

本取組の評価方法として、次の調査が必要と考えている。今後、学生支援推進プログラムワーキンググループを中心に評価体制を確立する。

- ①学習力支援講座、キャリア支援講座受講者等へのアンケート
 - ②既卒者に対するアンケート
 - ③採用した企業に対するアンケート
 - ④既卒者・内定者の受験報告書の分析
 - ⑤就職内定者に対する聞き取り調査
- ※編入学試験等も含む

6. 本取組の実施計画等

(1) キャリア支援

2009（平成21）年度は、次のものを計画実施した。

- ①キャリア支援室の支援環境整備
- ②職場開拓、地元企業等との連携を図るための要員と土日・祝日の就職相談要員の配置、外部からのキャリア支援アドバイザーの招聘
- ③進路未定者対象の講座の開催と個人面談の実施
- ④フォーラムの実施
- ⑤Webサイト、携帯サイトの公開

⑥年間の就職支援対策の改善・強化

⑦これまでの就職対策の見直しと改善

今年度のメイン行事であるキャリアフォーラムは、2010（平成22）年1月9日（土）の開催が決まり、地元企業の経営者、人事担当者、高等学校の進路指導担当者、卒業生がパネリストとなり「鹿児島に寄与する短大生とは」とのテーマのもと在学生等と意見交換が行われる（図1、2参照）。その成果の報告は、リーフレットとホームページ等で公開する。

現2年生に対するキャリア支援アドバイザーによる就職支援講座は次のとおりである。また、2年生対象の個人面談は11月から開始し、11月末までに13日間で47名に対して実施した。

なお、11月末現在の就職内定率は46.8%である。昨年度の同月は57.1%であり、約10%程度落ちている。

そこで現在は、就職試験の合格率アップを目指して、就職試験に臨む前の模擬面接回数を増やす体制を整えて支援を行っている。今後もさらに支援策を充実させたい。

2年生対象 就職支援講座

講座名「目指せ！ Change！ 大人になろう」

- ①働くこと
- ②自己分析
- ③第一印象の大切さ
- ④視点を変え、職に対する視野を広げる
- ⑤自分の今までの振り返る
- ⑥これから自分がどう動くべきか
- ⑦自立するという事

(2) 学習力支援

2009（平成21）年度、学習力支援では、

- ①学習力支援室の整備
- ②学習力支援補助員の配置
- ③eラーニングシステムの導入
- ④学習力支援講座の実施
- ⑤年間の学習力支援対策の改善・強化に重点を置いて実施した。

(3) 次年度に向けて

2009（平成21）年度は、キャリア支援と学習力支援体制を充実させるためのハード面での補強、就職内定率が低迷している現状を打開するための職場開拓、進路未定者に対する講座や2年生を主な対象とした個別面談を実施した。

この他、他大学の視察、各講座の参加者へのアンケ

ート、キャリア支援アドバイザーとクラス担任等との

図1 キャリアフォーラム案内チラシ (表)

意見交換等を通して、いま求められているキャリア支援体制を構築するための情報の収集に当たった。

このように2009（平成21）年度の活動は、今考えられる最善の学生支援を実施しつつ、その中で得られた受講者等の声を参考にして、既存の支援体制を見直し、今の就職環境を的確に見据えたキャリア支援体制を構築することを目的とした。

その結果、2009（平成21）年度は、就活手帳・リーフレット案の作成、就職システムの一層の充実を図るとともに年間就職対策計画を構築する予定である。次年度は、新たな体制で在学生に対するキャリア支援を実施していくことになる。

また、学習力支援においても、2009（平成21）年度、随時実施していた編入学試験対策や夏季休業中に実施した学習力支援講座のアンケートの分析を通して、春季実施予定の集中講座を企画・実施する。そして、この1年間の講座の成果を踏まえて、年間を通した一貫性のある系統的な講座となるよう次年度以降の学習力支援講座等の計画を立案・実施していくことになる。

図2 キャリアフォーラム案内チラシ (裏)